

平成17年
9月定例会

No.10



津久見 市議会だより

編集発行／大分県津久見市議会(〒879-2435)☎0972-82-9518



生命を救え!! 議員による救命講習会の場面

平成17年第3回市議会定例会は、9月6日(火)から9月22日(木)までの17日間の会期で行われました。

市長提出議案は、報告1件、認定9件、専決処分の承認2件、条例の制定及び改正11件、予算の補正4件、人事案件2件、その他3件すべて可決されました。

台風14号により災害に遭われた多くの市民の皆さんに心より、お見舞申し上げます。

『主な内容』

一般質問……………2~6

委員会等の活動……………6~8

議会ウォッチング……………8

編集後記……………8

一般質問

7議員が登壇 傍聴者延べ25名

第3回の定例会の一般質問は9月13日(火)に行われ、定数18名中7名の議員が市政全般について一般質問をしました。

なお、紙面の都合により全てを載せられませんのでご理解下さい。

もう少し長期的な試算を行うつもりはありませんか。

答 国政の動向や社会情勢を基に試算を行っていますので、10年後や20年後となると予測ができるにくいので、難しいと思います。ですから、行財政改革実行計画をローリング(平成17年度であれば、平成21年度まで)していくことで対応していきます。

答 本路線は生活・産業・文化交流において市街地と地区を結ぶ重要な路線と認識しています。今後の具体的な事業化は未定ですが、県も改良の必要性は認識していますので、市としても災害に強い道路となるよう要望していきます。

答 連携した有意義な訓練であり、これをモデルとして、継続して行う予定です。

答 昨年、長目地区において、防災訓練を実施しました。主防災組織が、地区消防団と連携した有意義な訓練であり、これをモデルとして、継続して行う予定です。

答 消防署の役割は何ですか。

答 津波警報等の伝達や、避難誘導・応急手当する事により、市民の生命と財産を守る事が使命です。小中学校では、既に年2回、避難・誘導訓練を実施しており、一般的の会社でも、指導要請があれば、出向いて訓練を実施します。

市町村合併について

高野幹也

問 市町村合併については、これまで様々な取り組みがなされてきましたが、現在まで法定協議会の設置等、具体的な成果とはなっていません。今後どのような考え方で、取り組みを進めていきますか。

答 これまで臼杵市を相手とし取り組んでいきます。今後は次の2点を基本方針とし取り組んでいきます。

行財政改革について

現在の行財政改革実行計画は、平成20年度までしか財政収支の試算を行っていません。

② 情報交換、交流等を通じてお互いが理解を深め、対等な立場で協議を進めていく。また、しばらくの間は県の指導を受け、行政レベルでの協議を重ねていきます。

地震の防災対策について

川野龍則

問 近い将来、東海地震、東南海・南海地震が起きると予測されています。津久見市では、既に各自治区に「自主防災組織」

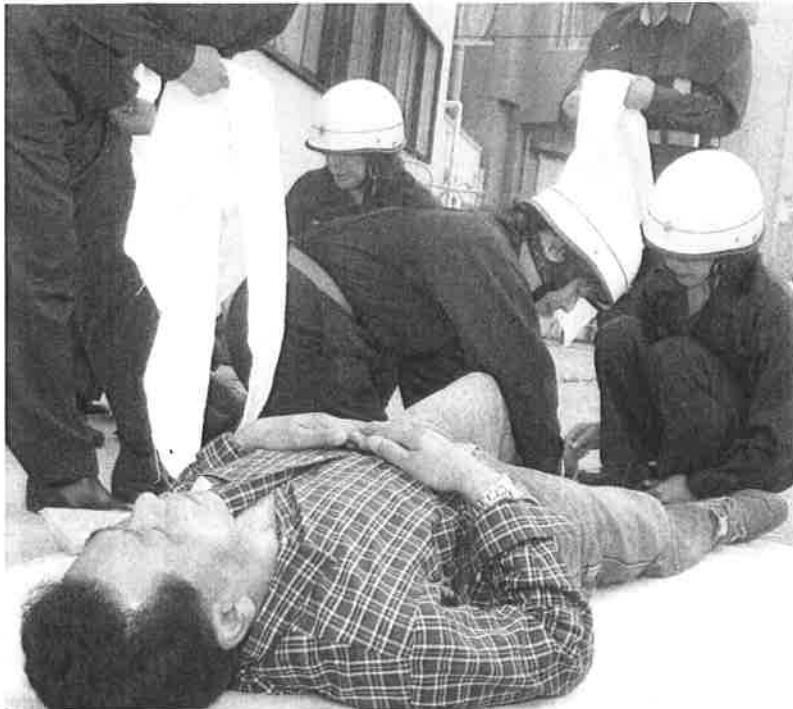
が設置され、いざという時の災害に備えて、日頃から防災訓練が必要であると思いますが、どのように考えてていますか。

議員全員で指定管理者制度の勉強会

まちづくり情報力フエ 「よらんせ」について

問 今年4月より、企画商工課内に、地域再生班が創設されました。そこでは、まちづくり情報力フエ「よらんせ」を企画しましたが、その目的と効果は何ですか。

答 8回の開店で、訪問者は延べ約180人。その効果は、ユニークなまちづくり手法として、新聞・テレビ・月刊誌など各メディアが取材をしてくれた事で、「何か津久見市がお



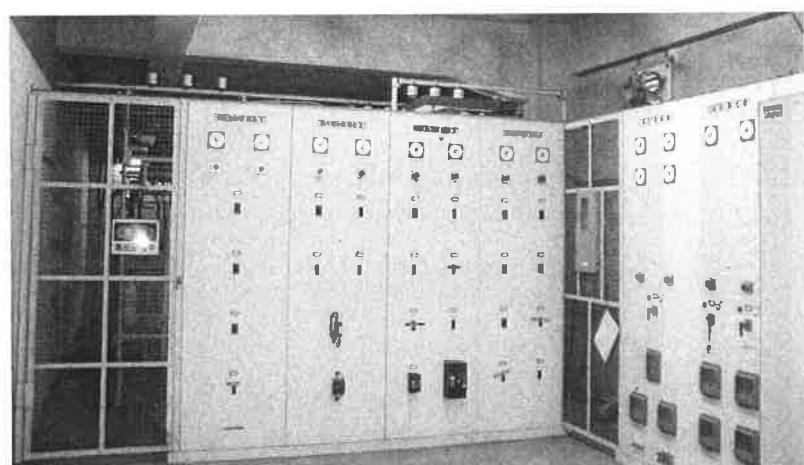
保戸島の傷病者救助訓練より

問 重度障がい者の医療費は
障がい者支援について

答 一般的家庭や企業などの民間施設に關しましては、今後の課題となっていますが、県に相談窓口が設置されておりますので、市民の方から相談があれば紹介し、一日でも早い問題解決につとめてまいりたいと考えています。

問 産科の早期開設を
産科の早期開設について

答 平成15年に産科がなくなり、不便な思いをしていました。その後の経過をおたずねします。



市民会館の電気室アスベスト除去対策へ

問 市民から得られた貴重な声を、今後の津久見市のまちづくりへ、どのように生かしていくのですか。

答 集まつた意見を、各分野毎に分類し、まちづくりのビジョンや「特区」、「地域再生計画」、第4次津久見市総合計画の策定などに活かしていきます。また、この情報カフェの継続を望む声が多いため、住民

問 地区探査協議会の結果を受けて、津久見市の教育委員会は、「歴史、公民教科書」はどういう経過で、どこの教科書を選択しましたか。

答 協議会の結果を踏まえ、「東京書籍」に決定しました。

との交流や、情報の発信拠点として発展させていきたいと思います。

アスベスト対策について

清水美知子

が現状です。産科診療を辞めたという医師が、26・8パーセントと3割近くもいるとう深刻な結果になっています。医師不足が予想されるため、国も現在対策を考えているところです。津久見中央病院におきましても産科の開設につきましては、現状の建物では増改築が困難であり、医師をはじめスタッフの確保、設備機器等の設備投資も非常に厳しいとの回答を得ております。

現在は、償還払い方式です。車イスや、寝たきりで他の人の手をかりなければならぬ方もいます。医療費の立て替え払いは大変な負担です。申請手続も役所に行かなければなりません。現物給付に出来ないでどうか。

問 市内外を問わず、どの医療機関

でも受診するため、医療機関等への周知徹底、全国的な対応が必要になりますし、所得制限による支給停止要件があるので、現物給付方式は困難と考えられます。

問 (株)クボタの旧神崎工場の周辺住民及び労働者、家族でのアスベストによると思われる中皮腫の死亡者の多発が明らかになり、全国にアスベストに対する不安が急速に広がりました。市の現状をお聞かせ下さい。

答 津久見市所有の建物でのアスベストが、確認されたのは市民会館のみで、電気室とテレビ中継室が未施行であることが判りましたので、今回本議会での補正予算を提案し議決後、安全対策万全のもとに、除去工事にとりかかりたいと思います。

問 今後の取り組みについて

答 一般の家庭や企業などの民間施設に關しましては、今後の課題となっていますが、県に相談窓口が設置されておりますので、市民の方から相談があれば紹介し、一日でも早い問題解決につとめてまいります。

問 津久見市の現状について

答 (株)クボタの旧神崎工場の周辺住民及び労働者、家族でのアスベストによると思われる中皮腫の死亡者の多発が明らかになり、全国にアスベストに対する不安が急速に広がりました。市の現状をお聞かせ下さい。

問 津久見市議会だより

問 教科書の採択について

答 地区探査協議会の結果を受けて、津久見市の教育委員会は、「歴史、公民教科書」はどういう経過で、どこの教科書を選択しましたか。

答 協議会の結果を踏まえ、「東京書籍」に決定しました。

スポーツ振興策について

上野 寛

緊急事態に対しても、医師会も誠意を持って対応していただけのことです。医師

会、医療機関に産科の開設について、お願いしていきたいと考えています。

問 市民野球場の利用状況と今後について、野球場の芝を利用して少年サッカー大会を行うことはできないか。また、サッカー専用の芝生会場を確保することについてはどのように考えをお伺いします。

答 市民野球場は、昭和63年に完成し、その後の利用状況は、野球の他、グラウンドゴルフ、扇子踊り、県体の弓道練習等に利用しています。

平成16年度の実績は、利用日数217日、255団体、延べ人数11,414人となつており、過去3年間大きな増減はありません。



しかし、現在の経済状況では芝生会場を確保することは困難であると考えています。

4試合を目安に利用して、その結果、芝の状況を見ながら判断していくたいと思います。次にサッカー専用の芝生会場の確保についてですが、体育競技の中で、サッカーだけが専用の会場がなく、他の子ども達の施設の中でも育むことは将来を見据えた励みにもなり充分な効果があると思います。

市営住宅に入居できない市民への取り組みについては、平成5年度より特定優良賃貸住宅供給促進制度が創設され、市営住宅に所得制限で入居できない中堅所得者層や若年単身者向けの賃貸住宅を市が建設できるようになりましたが、立地条件の選定に課題があり、本市には建設されていないのが現状です。

マイホームを取得しやすい施設については、現在行われて大変厳しい選択ですが、子供の育成ということで今年3月

答

市営住宅の入居状況(平成17年8月現在)は、管理戸数294戸、入居戸数273戸、空屋21(内政策空家18戸)となっています。入居資格等の基準の見直しについては、近年の入居競争率(3~4倍)と「住宅に困窮する低所得者に対する定額な家賃で賃貸する」という公営住宅法の目的から考えて、市独自の入居資格の見直し、特に収入限度額の緩和については困難であると考えています。

問

市営住宅の現状(入居状況)と入居基準の見直しや市営住宅に入居できない市民への取り組み、マイホームを取得しやすい施設について、どのように考えているのか、お伺いします。

定住促進対策について

市営住宅の現状(入居状況)と入居基準の見直しや市営住宅に入居できない市民への取り組み、マイホームを取得しやすい施設について、どのように考えているのか、お伺いします。

いる土地区画整理事業や港湾埋立地等による宅地造成を行い、比較的安価な宅地の供給を図ってきたところです。今後の取り組みとしては、空屋に関する情報収集を行い、県が行っている「おおいたUJ-1ターンボーナルサイト」との連携や埋立地による宅地造成等、安価な宅地の供給に努めていきたいと考えています。

長目「たちばな地区」を対面通行に 小谷栄作

問 県道大泊・浜・徳浦線の立花地区、この区間は、道路が非常に狭く離合もできなくて緊急車両の通行も不便をきたしています。早急に改善する必要がありますので、拡幅工事について質問しました。

答 これまで、安全のため緊急に整備が必要とされていました。これまで、緊急性を加味されながら年次計画で整備予定とされていますが、伊崎・楠屋地区・徳浦地区などがあります立花地区をはじめ、台風、災害などにより、財政的に支障をきたしていった徳浦公



市民野球場の芝でサッカー大会を

にも非常に厳しい状況ではあります。しかし、本路線が計画的に進められるよう、市としましては地元関係者のご理解、ご協力を始め議員皆様方の力強いご支援を得ながら今後とも強く要望してまいります。

問 堅浦地区の港湾整備並びに道路計画について青江地区と連動した新たな港づくりはどうなっていますか。

答 平成16年に国土交通大臣から計画の改訂が認可された所であります。この計画に基づき今後堅浦地区の港湾整備として埠頭用地、住宅商業施設用地、臨港道路、緑地等面積にして5・4ヘクタールが予定されています。事業実施については、この計画の目標年次は平成30年代前半となっています。

問 昨年襲来した四つの大型台風により、海底の岩などが割れたり横転したりして沿岸部の磯は壊滅的な打撃を受けています。水揚高の維持、増加のための対策、すなわち漁場造成は必要不可欠です。そのための解決策として新たな築磯の設置を検討していますか。

答 築磯事業の計画であります。現在津久見市の厳しい財政事情の中、四浦漁港は広域漁港整備事業として久保泊地区に漁港整備を行っており、

これらの完成をまず最優先と考えていますので、その後間近に迫っている大分国体にどのよう間に合わせるのか、その取り組みと国

体準備室の早急な設置について質問をしました。



台風のたびに通行不能となる立花地区

アスベスト問題について

知念 豊秀

問 アスベストはおよそ三千種類の用途に使われています。

答 しかも、中皮腫、アスベスト肺などの原因になります。市内の民間企業や個人住宅等の調査と情報公開をすべきではないですか。

問 乳幼児医療費について

ので現時点では、公表は考えておりません。

問 乳幼児の健康保持・増進、安心して子供を産み育てるためにも現在の「小学入学まで無料」を維持することは重要です。

また、子育て支援としても意義があり、この時期に三歳まで制度を後退させるのは白杆との合併のために制度のすり合わせをしているのではないか。

答 大分県では国土交通省の指示で民間の建物(鉄骨構造、鉄筋コンクリート造りで500mを超える建物)の調査を開始していますが、調査結果の報告はあくまで個人情報な

答 津久見市は他の自治体と違う方法でゴミ問題に取り組んできました。固体燃料にし、トントン当たり百円で太平洋セメントに販売しています。企業と行政が円滑な協力関係にある事からゴミ問題は市民に負担をかけることなく推移しています。この時期に有料化を打ち出すのは臼杵との制度すり合わせではないか、さらには低所得者ほど負担が重いが対策はありますか。

答 家庭ゴミの減量化が目的で制度のすり合わせではありません。制度は白紙の状態で低所得者などの問題はこれから協議して



家庭ごみ袋の有料化の方向性が出ましたが

答 津久見市の少子化に歯止めがかけられないのが現状です。しかも、乳幼児一人あたりの医療費が年々上昇傾向にあり、市の財政を圧迫しています。臼杵市との合併のためのすり合わせではなく、津久見市独自の行財政改革の一環としておこなうものであります。

答 その他、重度心身障がい者の医療費支給ミスについて、市民団書館の利用者減少について、介護保険利用料の減免について尋ねました。

答 児童生徒の減少、教育予算の効率的運用などの検討課題があり、現在進めている「学校給食専門委員会」で調査研究し、ご提言頂きます。

答 学校給食について

給食の原点は憲法で保障されている子供の発達権、生存権、教育権の確立にあります。食文化をどのように子供たちに伝えていくつもりですか。

答 児童生徒の減少、教育予算の効率的運用などの検討課題があり、現在進めている「学校給食専門委員会」で調査研究し、ご提言頂きます。

学校施設の耐震状況について

板井 王成

耐震調査をしてきたのか

問 小、中学校の校舎や体育館が老朽化し危険な状況にある施設が点在しており、特に日代小、中学校や青江小、第一中学の体育館などは危険だなあと心配しています。いつ地震が起きたときおかしくないと言われる時に、はたして子供の身は守れるのか、また、選挙の投開票所や災害時の避難所にもなっていますが、施設が壊れ2次災害が発生したなどといった笑いごとではすまされない状況は避けなければなりません。

学校施設について耐震調査を行っているのか報告下さい。

答 学校施設の耐震化については、近年の地震による被害状況を考慮し、耐震についての建築基準が昭和46年、昭和56年と改正され、現在のところ、昭和57年以降に建築された建物の耐震性は確保されているところです。

学校は、大風、大雨、地震発生時などに児童生徒の安全を確保するとともに、地域住民の緊急避難場所としての役割もあるなど、災害対策上重要な施

設のひとつとも考えています。津久見市では、平成9年度に第一中学校の耐震診断を行っています。200万円程度でしたら、その後進んでいません。

数多くの学校施設を保有していますので、一気に全ての耐震化を図ることが困難であるという事情とともに、耐震化優先度の課題もあつたところでですが、今後は、耐震化の具体的な対策を着実に進めていきたいと思います。

建て替え補強の必要な学校はないのか

問 前述した学校の校舎や体育館など建替えや補強が必要な施設があると思いますが、状況をお知らせ下さい。

答 昭和56年以前の建築は建築の第一中学校体育館、43年の堅徳小学校校舎、45年の青江小学校体育館、47年の同校校舎、48年の第二中学校校舎、49年の保戸島中学校校舎が建替え対象となります。

さらに、昭和50年に7棟が建築されました。これらも耐用年数や実際の使用年数などを考慮して建替えや補強が必要と思いまますので検討を進めます。

その他、行財政改革の進み具合について、着実に実現されているのか質問しました。



地盤のヒビ割れか、第一中学校体育館

- ◆9月15日に委員会を開会し、付託された議案2件について審査を行いました。
- ・専決処分の承認を求める
- ことについては、衆議院が解散されたことにより執

行された衆議院議員選挙費について一般会計予算の補正を行つたものであり、全員異議なく承認すべきものと決しました。

一般会計予算の補正についての答弁がありました。対応できる配慮をしているとの答弁がありました。

次に、市民会館改修工事に関し、その内容について質疑があり、「館内2か所のアスベスト除去工事を行う」との答弁がありました。これに関連し、

更に「国に対し、補助金の増額を要望すべきではないか」、「定額補助の検討はされたのか」等の意見があり、「離島航路の問題は、今の制度の中では仕方がない部分もあるが、制度改革等を含め、市の負担が大きくならないよう引き続き国等に働きかけたい」との答弁がありました。

会館周辺の住民への情報公開、周知は考へているのかとの質疑があり、これに対し、「当然、公知したい」との答弁がありました。

本件は、提案の内容および趣旨も理解できましたので、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

委総 員 会務

委員長 川野 龍則

◆9月14日に委員会を開会し付託された議案6件について審査を行いました。

津久見市吏員退隠料、退職給与金及び遺族扶助料条例の一部改正について

津久見市遊休地信託条例の一部改正について

津久見市火災予防条例の一部改正については、火災警報発令中の喫煙を禁止する指定区域について質疑があり、警報は風の強さ、空気の乾燥状況により発

令され、その警報中、市長が喫煙禁止区域を指定した場合、そこでは、喫煙が出来ないという制度で、標識については今のところ予定していないとの答弁がありました。

津久見市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

津久見市公園条例の一部改正（同右とは内容が異なる）

津久見市公下水道事業特別会計予算の補正

平成17年度津久見都市計画土地区画整理事業特別会計予算の補正

平成17年度公共下水道事業特別会計予算の補正

平成17年度津久見都市計画土地区画整理事業特別会計予算の補正

津久見市コミュニティ消防センターの設置及び管理制度に関する条例の廃止について

以上、審査の結果、全員異議なく可決すべきものと決しました。

委建 設 経済 員 会

委員長 小谷 栄作

◆9月14日に委員会を開会し付託された議案6件について審査を行いました。

津久見市吏員退隠料、退職給与金及び遺族扶助料条例の一部改正について

津久見市遊休地信託条例の一部改正について

津久見市火災予防条例の一部改正については、火災警報発令中の喫煙を禁止する指定区域について質疑があり、警報は風の強さ、空気の乾燥状況により発

なく承認すべきものと決しました。

津久見市ふれあい児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正（同右とは内容が異なる）

津久見市スポーツ施設設置条例の一部改正について

津久見市ふれあい児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

津久見市スキー場の設置設置条例の一部改正について

津久見市ふれあい児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

それに対し「企業への搬入車が大型化しているので危険度も増していくので、要請等をするようなら市に権限がある証だから、市から企業へいろいろと要請等をするようなら市に権限がある証だ

か」との質疑があり、「市道路となると公道であるので、今後、大きな車等使うところには、お願いに行きたいと思う」との答弁があり、最後に委員より「危険度合いを解消する」という意味からも、ぜひ専用道路を作つていただきたい」と要望がありました。本件については、その内容も理解できましたので、全員異議なく可決すべきものと決しました。

津久見市ふれあい児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

結果、全員異議なく可決すべきものと決しました。

津久見市民会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

津久見市ふれあい児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

委員 会 文教

委員長 高野 幹也

◆9月14日に委員会を開会し付託された議案5件、請願1件について審査を行いました。

津久見市使用料条例の一部改正については、審査

津久見市電話通訳装置設置について

津久見市手話通訳装置設置について

津久見市手話通訳装置設置について

津久見市電話通訳装置設置について

津久見市手話通訳装置設置について

津久見市手話通訳装置設置について

津久見市手話通訳装置設置について

こんにちは 市議会です



3連覇



第58回 大分県民体育大会が大分市ピックアイを中心に開催され、議員・教委陸上で津久見市議会チームはすばらしい走りをみせて、400mリレー・100mともに優勝し、3連覇を成し遂げたという快挙を達成しました。議員ソフトボールは、合併で大きくなつた佐伯市と戦いましたが、残念ながら敗れました。



9月定例会の議場には小原流白百合会の皆さんから、3回にわたってお花が寄せられました。ありがとうございました。

時間が余裕はあっても、上映時間に合わせて最初から見ようと思うとかなり苦労する。子ども達や勤務のある人たちが映画を観に行くのは大変だろうと想像する。

こんな時、せめて県南にひとつぐらい映画館があつても良いと思う。3市の広域で映画館をつくり(真ん中の津久見市がよい)、経営は民間に委託するような事業が出来ないかと思う。

厳しい財政事情だが、娯楽や文化を大事にする施策もあつてよいと思う。



最近、大分市内の映画館で「ヒトラー最後の12日間」、「蟬しぐれ」と一週間に2本の映画を観た。

編集後記